

序

第1章 地方が、生き残るためには

広がる「地域間格差」に危機感を感じているか 4

アジアとの「関係の急転」が、日本経済に及ぼすもの 10

何のため、誰のために、借金を続けるのか？ 18

第2章 地域と大手企業で伝える「唯一の文化（価値）」

白川郷・五箇山―世界遺産故に、背負う課題と追える夢……………

白川郷を守り、次世代へつなげる 42

世界のトヨタと白川郷をつないだ「運命の糸」 52

数百年の時を、今に伝える秘境 55

誰が、広域に及ぶ世界遺産地域をプロデュースするのか？ 66

青森ねぶた 大企業がこぞって投資する、祭りの舞台裏……………70

祭りは、時代と心を映す鏡 72

価値を、次世代に伝えるということ 81

弘前ねぶたと秋田竿燈 磨かれ続けた職人魂が支える……………89

祭りの原点は「地域への回帰」——弘前ねぶた 90

郷土芸能に至る紆余曲折——秋田竿燈 94

華麗さの裏側にある、厳しさの故 99

過去と将来を見据え、今を表現 103

第3章 森林を守り抜く「環境企業」の貢献

北海道・下川町 端材まで生かす循環型の林業経営……………108

基盤産業の崩壊と復活の試行錯誤 108

町有林化は地元には有益な公的投資?	113
ゼロから築き上げた「森林総合業」	116
産業・経済の自立を支えるプロ組織	122

和歌山県 林業で生きたい——次世代の思いを実現……………

国政をも動かした「緑の雇用事業」とは…………… 128

Iターン者を受け入れるコミュニティの役割…………… 138

「企業の森」——森林づくりに企業が参画するワケ…………… 145

世界文化遺産の評価が地域に教えたこと——紀伊山地の霊場と参詣道…………… 150

高知県 納税者が納得する自主課税……………

市町村合併や三位一体改革の裏側で…………… 161

「参加型税制」の意義と導入への道程…………… 170

第4章 見直される地域(住民)自治

長野県・栄村 福祉も公共事業も地域社会の仕組みを構築……………

地域の真の福祉政策とは何か?…………… 182

地域の現実〴〵に合った手づくり公共事業…………… 188

岐阜県・旧古川町 地域文化の継続が、自治を支える、人を育てる……………200

産業経済界が目指した高山市との差別化 203

さまざまな「住民負担」の意味を考える 212

長野県・小布施町 住民の「心」がまちの魅力……………221

観光地が「廃れ、俗化しない」理由 221

魅力ある地域文化が、振興や集客につながる 227

第5章 ゼロから築き上げた産業・ビジネス

北海道・士幌町 日本一豊かな農村築いた知恵と勇気……………242

不屈、不屈…で得た「純農村」の地位 244

農協は「農村地域を経営する会社」 249

神戸市 人材の結集で国家プロジェクトを実現……………259

日本初の壮大な産業クラスター構想の実現 260

世界に目を向け、「世界から見た神戸」を考える 270

第6章 都市と地方部、互いに魅力を感じ合える関係を

中央省庁から地方部への財政移転が抱える問題点 284

「国土経営」の方針の確立と、国民的な合意の必要性 290

サイレントマジョリティー（政治的無関心）をやめよう 293

現実と夢の狭間で、相互の責任を感じ合える、すてきな関係を 298

あとがき 300